

2023/10/30 (月)

聖書 コリントの信徒への手紙 I 12章 26節 (新約聖書316頁)

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

つながり

人間の体は目、耳、口、鼻、手、足などそれぞれ違う働きをしていますが、お互いはつながりひとつの体です。例えば歯が痛い、お腹が痛い、熱があると、食欲はなくなり、力は入らない、声もかすれて、からだ全体に影響します。

家族で誰か風邪をひくと順番に風邪をひいて、インフルエンザなどもクラス全体に広がります。また暑い夏には野菜もお米も不作、水温が上がり続けるとお魚も不漁、すると物価が上がります。災害でインフラが遮断されると日常生活がストップします。

誰もが健康で、争わず、天候も穏やかで、豊かな毎日であればいいですが、そんなことはあり得ません。誰もがどこか欠けていて、足りないところがあります。だからそれぞれの賜物を分かち合い、支え合うことが大切です。

ダーウィンは適者生存と言いました。それがいつの間にか生存競争だけがひとり歩きしました。いま最新の科学研究で生物たちは競争でなく、助け合って生きていることがわかり始めています。私たち人間もその仲間であることを忘れてはいけません。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、少しずつ気温が下がると共に、暖かな陽ざしが教室の奥まで差し込むようになりました。どうかわたしたちが闇の中であって押したり引っ張ったり競うのではなく、あなたの光に照らされた道を歩ませてください。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン